

intertek

news

Vol.85

ISO関連季刊情報誌(年4回発行)

CONTENTS

01 私たちに残された時間は5年あまり

02 特集 03 ー労働安全衛生法の関係政省令が改正ー 新たな化学物質規制が導入されます ～自律型化学物質管理への大転換対応～

04 News&Topics

- ▶ JIS A 5308、JIS Q 1011改正のお知らせ
- ▶ 三優ライト工業様、エイエルアイ様、「東大阪モノづくり大賞」受賞
- ▶ Information: 気候変動を配慮したマネジメントシステム規格の改正について(追補版発行)

05 審査の現場から

- ▶ お客様紹介
(株式会社東横イン)

06 連載よみもの

- ▶ 審査員リレーエッセイ
「全豪オープンテニス観戦」
(審査員 片田 強)
- ▶ 環境とISO 14001
「ウェルビーイング(1) ものの豊かさから心の豊かさへ」

07 お客様からのお便り

- ▶ 「安全と魅力的な商品で、昆布産業の発展に貢献」
(株式会社大平昆布)
- ▶ 「モノづくりの先にある価値を」
(株式会社BBS金明)

08 研修コースのご案内

- ▶ ちょっといっぶく
- ▶ 研修コース案内
- ▶ 受講生からのお便り
(アルカスコーポレーション株式会社)

インターテック・サーティfikेशन株式会社

発行 大阪事務所

◆バックナンバーは、弊社ホームページにてご覧いただけます。

<https://ba.intertek-jpn.com/>



私たちに残された時間は 5年あまり

営業部 関東地区担当/温室効果ガス排出量検証人 ふくなが いちろう
福永 一郎

「クライメートクロック(Climatе Clock)」という言葉を知っていますか？

営業移動中のラジオで初めて耳にして、内容と共に残された時間という言葉が強く印象に残っています。既にご存知の方もいらっしゃると思いますが、2020年以降世界各地に設置された気候時計のことで、世界の平均気温上昇を1.5℃以下に抑え、気候変動による影響で取り返しのつかなくなるまでの時間をカウントダウンすることで、私たちに「締め切り」までの残り時間を示しています。

昨今、気候変動に関するニュースが日常的になりつつある中、この時計が示すとおり私たちに与える意識と行動の緊急性も益々高まっています。

ISOにおいても、今年2月にマネジメントシステム規格の認証組織の状況において考慮すべき事項として、気候変動の重要性を強調する2つの新しい記述「気候変動を配慮したマネジメントシステム規格の改正」が追補として発表され、経済活動における環境への配慮が一層求められています。

弊社ではISO以外の各種サービスも提供しており、環境関連としては、東京都・埼玉県の温室効果ガス(GHG)排出量検証に加え、国際規格のISO 14064-1に準拠したGHG排出量検証に関するサービスも提供しております。また、テキスタイルエクステンジ認証(GRS、RCS認証)においては、繊維だけでなく金属加工品その他に関するリサイクルにより、廃棄物の抑制などサプライチェーン全体での環境影響の低減につながる取り組みとしてますます関心が高まっており、近年引き合いが増えてきております。弊社のVision & Missionの下、様々な環境への取り組みを支援するサービスを提供することで、引き続きお客様の持続可能な発展に貢献できるよう努めてまいります。

ちなみに、日本国内に設置されているクライメートクロック*は、東京・渋谷八公前広場をはじめとする東京都内に計4カ所設置されているそうです。機会があればぜひ一度ご覧になり、気候変動を身近なところから考えるきっかけにされてはいかがでしょうか。

*クライメートクロック(気候時計)は、2020年にニューヨーク(アメリカ)に初めて設置され、現在、ベルリン(ドイツ)、ソウル(韓国)、ローマ(イタリア)、グラスゴー(イギリス)にも大規模時計が設置。日本では、2022年に学生のクラウドファンディングでの呼びかけにより渋谷駅前の観光案内所に小型版が初めて設置されました。